

第6期

Active Work Place研究会

ひとりひとりがイノベータータイプで いきいき働ける組織へ

専門家による助言と参加企業同士の経験交流を通じた
行動計画の策定と実践

ストレスチェック
結果の活用

具体的施策
の展開

生産性
人財獲得力
向上

主な講師



東京大学大学院医学系研究科
精神保健学分野
教授 **川上 憲人氏**
(専門: 職場のメンタルヘルス)



学習院大学
経済学部経営学科
教授 **守島 基博氏**
(専門: 組織行動、人的資源管理)



北里大学
一般教育部人間科学教育センター
教授 **島津 明人氏**
(専門: 産業精神保健、健康心理学)



公益財団法人 日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

健康いきいき職場づくりフォーラム

『健康いきいき職場づくりフォーラム』とは

職場のメンタルヘルスの一次予防（未然防止、健康増進）を発端とした人と組織の新しい枠組みとして、「働く人の心身の健康」を前提に、「働く人のいきいき」「職場のいきいき（一体感）」によって、個人の幸福と組織の生産性向上を目指す活動です。この活動は、個人を対象とした職場のメンタルヘルスの領域のみならず、組織全体を対象とした経営

領域に関わるものです。

当フォーラムはこの概念と具体的方策を国内に広く普及し、これを通じて働く人の心身の健康増進と企業の生産性向上を支援することを目的に、公益財団法人日本生産性本部と東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野が協同して設立いたしました。

当研究会の開催趣旨

少子高齢化に伴う労働力人口の減少を背景とし、企業における人手不足が深刻化しています。また長引く経済成長の低迷を脱するため、企業にはイノベーションと事業の新陳代謝が求められています。これらの課題に対し、働き方改革などを通じた生産性向上や、新たな付加価値を生み出すための取り組みが進められていますが、その基盤として「組織で働く人が健康でいきいきしている」ことが重要です。

本研究会では、ワーク・エンゲイジメント（仕事に誇りを感じ、熱心に取り組み、活力を得ていきいきしている状態）向上と組織の活性化に向けた計画策定および実践を、講師の助言と他社との経験交流を通じてご支援します。また、ストレスチェック集団分析結果の実践活用を支援します。その結果として、組織における一体感の醸成、働く人の心身の健康改善、生産性向上とイノベーション創出の基盤づくりを目指します。

対象（下記企業の経営企画、人事、健康管理部門の経営幹部および担当者、労働組合の幹部）
※ 2名1組でご参加ください。

人財獲得力や組織力強化を経営課題としている企業
健康経営を推進、ホワイト500・健康経営銘柄の認定を目指している企業
ストレスチェックの分析結果を効果的に活用したい企業

開催期間・会場

2018年9月～2019年6月

●全8回開催

生産性本部ビルセミナー室（東京・永田町）
経営アカデミー教室（東京・丸の内）
宿泊型研修施設（関東近郊、場所未定）

研究会での学びのイメージ



過去の参加企業一覧（敬称略）

●第1期（2013年度）

西日本旅客鉄道株式会社
株式会社フジクラ
三菱鉛筆株式会社
藤倉化成株式会社
朝日酒造株式会社

●第4期（2016年度）

株式会社IHI
N T Tデータシステム技術株式会社
オムロンヘルスケア株式会社
布目電機株式会社
株式会社富士通マーケティング

●第2期（2014年度）

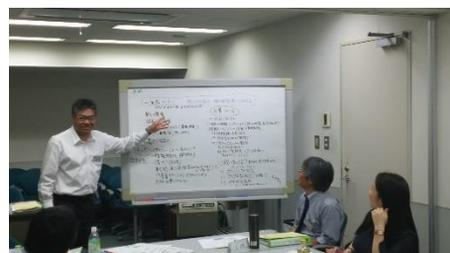
帝人株式会社
トヨタファイナンス株式会社
株式会社N T Tデータ
積水化学工業株式会社

●第5期（2017年度）

株式会社神戸製鋼所
セイコーエプソン株式会社
積水化学工業株式会社
トヨタ自動車九州株式会社

●第3期（2015年度）

医療法人社団明芳会 イムス板橋リハビリテーション病院
旭化成労働組合
D I C株式会社 埼玉工場
第一工業製薬株式会社



参加企業の声

健康いきいき職場づくりの基本、又、健康経営の視点から見た健康いきいき職場づくりの最新の理論・方法論などを各分野の第一人者である講師から身近に学ぶ事が出来ます。又、改めて自社の資源を振り返り、講師、他社参加メンバーからの相互アドバイスにより、組織に合った行動計画の立案や具体的な施策など実践に向けた取り組みが得られます。（第2期参加）

本研究会に参加することで、専門的知見に基づくアドバイスや他企業様との情報交換等、自組織の活動の推進に向けた後押しを頂きました。自組織では生まれづらい発想や視点も多く、様々な気づきを得ることができ、参加者自身の成長にもつながったと感じています。今後も多くの方にご参加頂き、互いに切磋琢磨していければと思います。

（第3期参加）

研究会に参加することで業務遂行しながらではなかなか進まない課題整理や取組の棚卸などを体系的に行うことができ、同じ志や課題を持つ仲間と共に新しい知識を学びながら過ごす期間は刺激的で学び多いものになりました。ご参加をおすすめします。

（第4期参加）

各回予定プログラム

●全8回(うち合宿1回)のプログラム(演題・講師は変更の可能性があります)

※会場は確定次第改めてご連絡いたします。

第1回:2018年9月7日(金) 13:00~17:30

テーマ:ひとりひとりがイノベティブで、いきいき働ける組織とは

目的:本研究会の考え方、理論、目的の理解、および現状の共有

時間	プログラム	講師・話者
午後	【講義&議論】健康でいきいき働ける職場の条件 (経営戦略としての組織づくり)	東京大学 大学院 医学系研究科 精神保健学分野 教授 川上憲人氏
午後	【講義&議論】ワーク・エンゲイジメントと組織活性化 (人と組織の活性化を成功させるためのポイント)	北里大学 一般教育部 人間科学 教育センター 教授 島津明人氏
	【ワーク】事前課題「参加各社の現状と課題」発表・ 討議	川上憲人氏、島津明人氏

第2回:2018年10月5日(金) 9:30~17:00

テーマ:経営視点から、組織単位としての職場を考える

目的:日本の企業組織を取り巻く環境変化や特徴の理解、今後の取り組みの検討

時間	主なプログラム	講師・話者
午前	【講義&議論】企業競争力の原点としての“健康で健全”な職場とは (経営学からみた組織づくり、人づくり)	学習院大学 経済学部 経営学科 教授 守島基博氏
午後	【事例紹介】第5期(2017年度)参加企業の 実践発表と討議	学習院大学 経済学部 経営学科 教授 守島基博氏
	【ワーク】事前課題「本研究会での取り組みのビジョンと施策案」発表・討議	

第3回:2018年11月2日(金) 13:00~19:00

テーマ:組織の現状の見える化と改善に向けた具体的施策

目的:ワーク・エンゲイジメントを高め、組織を活性化させるための効果的施策の検討

時間	主なプログラム	講師・話者
午後	【ワーク①】事前課題「自組織の資源とGood Practice」の発表・討議	北里大学 一般教育部 人間科学 教育センター 教授 島津明人氏
午後	【講義&議論】ポジティブ版ストレスチェックの活用 方法(組織の現状の見える化と分析、改善) 【ワーク②】事前課題「組織アセスメント」発表・ 討議	北里大学 一般教育部 人間科学 教育センター 教授 島津明人氏

第4回:2018年11月28日(水) 10:00~17:00

テーマ:ベストプラクティスおよび手法を学ぶ(東京急行電鉄)

目的:先進的な取り組みを展開している企業の事例を学び、施策をより具体的に検討

時間	主なプログラム	講師・話者
午前	【事例紹介】東京急行電鉄の取り組み紹介 4年連続で健康経営銘柄取得、全社で取り組みを推進	東京急行電鉄株式会社 ご担当者
午後	【講義&ワーク】いきいき職場づくりワークショップ (組織活性化施策手法の紹介、デモンストレーション)	健康いきいき職場づくりフォーラム 事務局

第5回:2018年12月21日(金) 9:30~17:00

テーマ:行動計画策定に向けた効果的施策とマネジメントサイクルの構築

目的:考案した具体的施策の有効性と組織としての継続的取り組みを検討

時間	主なプログラム	講師・話者
午前	【ワーク①】 組織の特性とマッチする施策の発表・討議	北里大学 一般教育部 人間科学 教育センター 教授 島津明人氏
午後	【講義&討議】 ワーク・エンゲイジメント向上の施策と効果 【ワーク②】持続的取り組みを実現する、個人と 組織のPDCAを考える	北里大学 一般教育部 人間科学 教育センター 教授 島津明人氏

第6回(合宿):2019年2月7日(木)~8日(金)

テーマ:行動計画発表会

目的:第1回~第5回までの講義やワーク、実践課題を通じて検討した、今後の組織としての行動計画を発表し、相互アドバイスを行う。過去の参加企業による進捗発表および経験交流も行います。

第7回(半日):2019年3月以降

テーマ:フォローアップ

目的:計画進捗のフォローアップや、推進における
悩み相談などを行う。

※毎回、参加メンバーの職場に訪問して実施しています。

第8回(1日):2019年6月以降

テーマ:第6期メンバーとの交流

目的:第7期第2回と合同で実施し、1年間の実践の
進捗を紹介したり、意見交換・相互アドバイス
を実施する。

プログラムの特徴

1. 行動計画の立案・実行...研究会の会期を通じて組織としての行動計画を策定いただけます。
2. 8つのステップと6つの基準...健康いきいき職場づくりを推進する際の標準的な8つのステップと6つの基準を習得頂けるカリキュラムで、何から取り掛かるべきかの優先順位をつけやすくなります。
3. 実践課題...毎回出される課題により、自組織の資源を振り返り、自組織に合った行動計画が策定できます。
4. 2名でのご参加...自組織に戻った時に、学びを共有した方がいることで、企画検討や社内調整、実行が楽に早くできるようになります。
5. 参加者同士の学び...同じ目的を持った、全く別の組織の方々との学びを共にすることで、他社事例を多く学び、また自社の良さを客観視することができます。

積水化学工業株式会社（第2、5期参加）



企業概要

設立：1947年
業種：化学
所在：大阪府大阪市北区
従業員数：約23,000人（連結）
研究会参加者のお立場：
人事部内 健康推進室
（産業保健スタッフ）

従業員一人一人が主役の健康いきいき職場づくり

1. 研究会に参加した背景（抱えていた課題）

2015年4月より、セキスイ健康保険組合とのコラボヘルス開始とともに弊社人事部に厚生・健康支援グループを設置、積水化学グループ会社含め全従業員（約23,000人）の健康増進に向けた支援を開始。2017年4月より健康推進室を新設し統括産業医と統括保健師を配置した。国内積水化学グループ約130社、

250拠点の事業場の健康施策を進めていく上で以下3点の理由で参加した。

- 1.働き方改革や健康経営を推進していききたいが、既存の概念転換が難しい
- 2.健康いきいき職場づくりが成功するコツを知りたい
- 3.健康経営や類似の取り組みが生産性の向上につながるエビデンスや最新の知見を知り、根拠に基づいた説明、活動をするため。

2. 研究会を通して学んだこと

健康いきいき職場づくりに向け、まずは健康いきいき職場の3つの条件 ①従業員の心身の健康 ②従業員のいきいき ③職場の一体感を充実させることが大切であることを学んだ。そこで、2017年度からの新体制（健康推進室）での健康推進のキーパーソンとして、各社・各拠点の「健康管理責任者・担当者」との連携を強化することからスタートした。このキーパーソンへの積極的な情報発信に

よりストレスチェック受検率を昨年度比10%アップ（初年度72%→82%）することができ、いきいき職場づくりではキーパーソンへのアプローチが重要であることを実感した。また、ポジティブなメンタルヘルスの実現を目標に、経営視点からも推進していく方法を理論的に学び、「健康いきいき職場づくりワークショップ」のファシリテーターとしての基礎知識や実施のポイント等演習を通じて学んだ。

3. 健康いきいき職場づくりの進捗

積水化学グループ全社一体となって実施している法定ストレスチェック実施後、各事業所ごとに集団分析し「職場環境改善」につなげるためのワークショップを開催。その中から数社希望で、事業所・専門家・人事部と協働で職場環境改善活動の「モデル事業所」として取り組みを実施。今回、グループ会社

A（積水化学の特例子会社Bと協働で生産）と活動を行っている。集団分析結果よりストレス要因の健康への影響を減らすための最初のステップとして、管理監督者メンタルヘルス研修を4月、5月と2回企画。実施後、職場アンケートなどで評価・効果検討を行い、今後も自走できるよう支援（アドバイス）を行うとともに、グループ全社へ展開していく。

4. 未来の参加企業へのメッセージ

健康いきいき職場づくりの基本、又、健康経営の視点から見た健康いきいき職場づくりの最新の理論・方法論などを各分野の第一人者である講師から身近に学ぶ事が出来ます。又、改めて自社の資源を振り返り、講師、他社参加メンバーからの相互アドバイスにより、組織に合った行動計画の立案や具体的な施策など実践に向けた取り組みが得られます。



第一工業製薬株式会社（第3期参加）



企業概要

設立：1918年
業種：製造業
所在：京都府京都市南区
従業員数：約1,000人
研究会参加者のお立場：
人事部、産業保健スタッフ、
労働組合

健康いきいき目指して、社内イベントで活性化、元気な職場に！！

1. 研究会に参加した背景（抱えていた課題）

当時は三つの課題を抱え、参加しました。
①1次予防の効果的手法の模索…メンタルヘルス不調者、復職者への対応や体制づくりはある程度構築できており、従来の2次予防・3次予防から1次予防へのシフトの時期にきていた。また1次予防はその活動に見合う効果があるのか模索したい。
②職種の違いに合わせた職場環境改善活動の

模索…事務部門・製造部門は従前の活動がマッチしているが、営業部門・研究部門は別のニーズがあり、職種に応じた職場改善活動について模索したい。

③ポジティブ心理学の企業内研修への応用…従業員が本当に聞いてみたい、聞いて満足するメンタル教育を探したい。ワークライフのライフを強化する研修が効果的か検証したい。

2. 研究会を通して学んだこと

健康いきいきの理論、ポジティブアクションによる職場活性化の手法など、原因究明型の従来のメンタルヘルス対策ではなく、新たな発想の取り組みを学ぶことができました。また、他社の取り組みを参考に、自社への取り組みへの展開を検討することが可能であり、交流を通じて新たな発想を得る機会でした。

一方で、人事・組合・産業保健スタッフにて参加を続けることにより、三位一体の活動が継続し、メンタルヘルスその他情報交換や取り組みが加速しました。

1年間の活動を通じて今後のアクション（健康経営格付け等）に向けた、良いアピールの機会となりました。

3. 健康いきいき職場づくりの進捗

社内イベントとしてフェスタが継続し、全社的に家族を含めた交流の場となっています。また、社外からの評価として経済産業省から健康優良法人ホワイト500に認定、日本政策投資銀行から健康経営格付について2016年にBランクに認定されました。

健康経営格付については2017年に最高ランクとなるAランクに認定されています。現在は、健康経営への取り組みが加速し、産業保健スタッフを中心に社内外へのPRを含め施策を展開中です。

4. 未来の参加企業へのメッセージ

他社との交流により、自社の優れた部分に気づくことができます。また、他社で実施されている取り組みでも自社の発想にはない優れた取り組みがあり、相乗効果が期待できます。また、取り組みの中で互いの悩みを共有し、意見交換を通じて新たな発想が生まれる可能性を秘めています。研究会は一期一会です。皆さん大いに交流し、日々の取り組みに生かしてください。



お申込み欄 ※必要な個所にチェックしてください。追って事務局よりご参加のご案内をお送り申し上げます

Active Work Place研究会に申し込みます

参加費 健康いきいき職場づくりフォーラム会員(協賛) 290,000円 ※ご参考 フォーラム会員会費(年間) 協賛会員 194,400円
健康いきいき職場づくりフォーラム会員(組織)・生産性本部賛助会員 390,000円 組織会員 86,400円
一般 450,000円

Active Work Place研究会申し込みと同時に、健康いきいき職場づくりフォーラム会員に申し込みます

(会員種別: 協賛会員 組織会員 個人会員)

組織情報 ※ご請求書等お届け先をご記入ください

組織名		
担当者様お名前	所属	役職
住所 〒 - -		
電話番号	FAX番号	- -
従業員数	人	業種
健康いきいき職場づくりフォーラム会員ですか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
健康いきいき職場づくりフォーラムメルマガ配信を希望されない方はチェックしてください	<input type="checkbox"/> 希望しない	

ご参加者情報(お一人目)

名前	
所属	
役職	
電話番号(上記と異なる場合)	- -
FAX番号(上記と異なる場合)	- -
E-mail	

ご参加者情報(お二人目)

名前	
所属	
役職	
電話番号(上記と異なる場合)	- -
FAX番号(上記と異なる場合)	- -
E-mail	

※ご登録のご参加者様のご都合の悪い回などは、代理の方のご出席をお願い致します。

お申込前にご確認ください

- ・本研究会は組織単位でのみご参加いただけます。個人の方のご参加はいただけませんので、予めご了承ください。
- ・合宿の宿泊費・懇親会飲食費等は実費を別途ご負担ください。
- ・本研究会は、健康いきいき職場づくりフォーラムの活動の一環として実施致します。
- ・主催者により会合の様子を映像・音声・写真等に記録させていただく場合がございます。予めご了承ください。

WEBでのお申込はこちら

健康いきいき職場づくり



ホームページ URL

<http://www.ikiiki-wp.jp>

お問い合わせ

「健康いきいき職場づくりフォーラム」事務局
 公益財団法人 日本生産性本部
 ICT・ヘルスケア推進部内
 住所 〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12
 TEL 03-3511-4024 FAX 03-3511-4064
 MAIL ikiiki@jpc-net.jp

個人情報保護方針

- 下記の「個人情報の取り扱い」について同意した上で申し込みます。
1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、日本生産性本部ホームページ(<http://www.jpc-net.jp/>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。
 2. 個人情報は、『健康いきいき職場づくりフォーラム』の実施に関わる資料等の作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
 3. 『健康いきいき職場づくりフォーラム』の実施に関して必要な範囲で資料を作成し、当日講師等の関係者に限り配布させていただきます。但し前述の場合および法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
 4. 案内状や参加証、テキストの送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
 5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、健康いきいき職場づくりフォーラム事務局 (TEL03-3511-4024) または日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口 (TEL03-3511-4003) までお問合せください。【責任者:個人情報保護管理者(総務部長)】
 6. お申込書に個人情報を記入するかどうかはご本人の自由です。ただし、必要な個人情報が不足していた場合は、当本部からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
 7. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。